

## ふれあい記録

実施日：平成 29 年 7 月 20 日

当番者名：相川 勲、山奥利光

コース名：(独自コース 50 番) 宝永山トレッキング

(通し番号 第 132 回)

天 候：晴れ

参加者名：相川 勲、市瀬英雄、岩崎宗郷、江口正彦、小俣悦男、神谷順子、功力満紀子、熊谷信雄、柴崎幸治、新海 昭、西村寿文、根本邦子、細矢清志、堀井克子、宮原さち子、宮原宏至、山奥利光、山腰策次郎

<ビジター>笠井欣三、林 洋、船橋エイ子

計 21 名 (内、男性 15 名 女性 6 名)

(五十音順)

### 交 通 (時刻)：

(往) JR：横浜駅 5:48 発——(戸塚 5:58、大船 6:04)——7:22 着三島駅 7:29 発——  
—7:54 着富士駅 8:05 発——8:23 着富士宮駅

タクシー：富士宮駅 8:35 発——富士宮口五合目 9:40 着

(復) タクシー：御殿場口新五合目 15:30 発——JR 御殿場駅 16:00 着 解散

### コースタイム (時刻)：

富士宮口五合目(2390m)レストハウスで 20 分高度順化及びトイレ、ブルトナーザー置き場へ移動して準備体操、10:03 出発——(富士山自然休養林歩道)——第二火口縁 10:30——第一火口縁 10:55——第一火口底(11:05～11:15 レジタイム)——宝永山(2693m) (12:15～12:50 昼食) ——馬の背 13:00——大砂走り——新五合五勺と大石茶屋の間(14:30～14:40 レジタイム)——大石茶屋 14:55——御殿場口新五合目(1440m)15:15 着

みどころ：\* 宝永 4 年(1707 年)富士山南東側 2500m 前後地点で起きた噴火で生成された側火山が宝永山(2693m)である。その南下側に 3 つの火口が連なり、遊歩道からのすり鉢型の観望は豪快かつ美しく月世界のような異次元の世界にいる感じがする。

奇しくも、1969 年の 7 月 20 日はアポロ 11 号が月面に着陸した日である。

\* 大砂走りは宝永山の北側、富士登山御殿場ルートの下山路で七合目から新五合目まで 7km に及ぶ火山灰地、足首までもぐる砂礫は一步踏み出すと 1～2m の歩幅になり、下山路として最速で下れるので良く利用される。今回は六合目に近い馬の背からの下りであった。

時折湧き上がる霧と相まって雲の上を歩く味わいを得られた。長時間柔らかい所を歩いたので、かたい地面の所では違和感を感じた。

自然観察：\* 富士山自然休養林歩道はシラビソやダケカンバ等が茂り、2500m 前後の森林限界の特徴が良く出ている。

\* 第 2 火口縁に着くと砂礫地になりオンタデ、ミヤマオトコヨモギが地面の所々にあるだけで急に眺望が開け、火口や宝永山及びその登山路が見渡せる。

\* 宝永山の頂上でイワヒバリや背中が赤や橙、緑で足が黄色のセアカツノカメムシがいた。

\* 大砂走りの下方になるとオンタデ、イタドリ、フジアザミの大きな株が点々と存在し、他の植物は無いようだ。フジアザミは 8 月になると 1m 位の高さに花を付ける。

### 特記事項：

\* 朝早いと JR 東日本以外の路線の乗車券が買いにくいので注意しましょう。

また、ジパングの利用可能性について早くから研究すべきである。